

経営比較分析表（令和3年度決算）

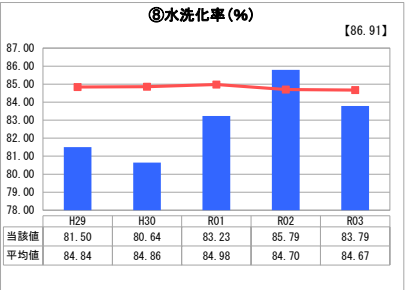
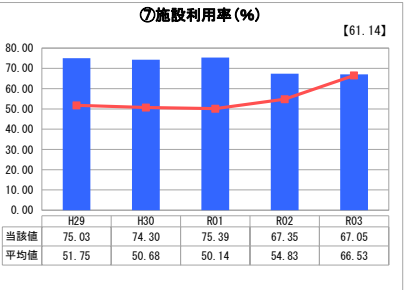
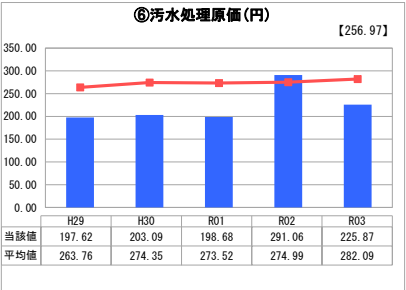
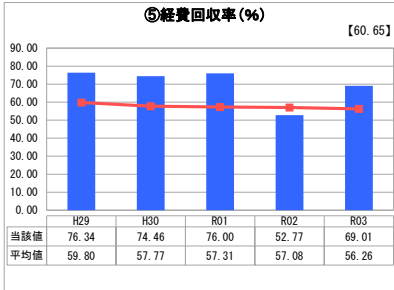
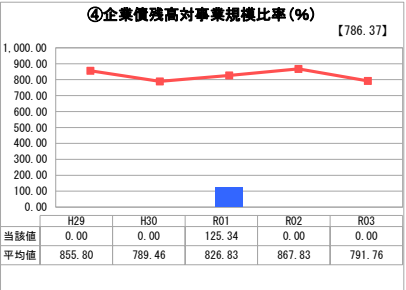
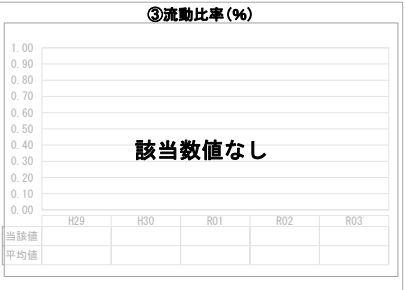
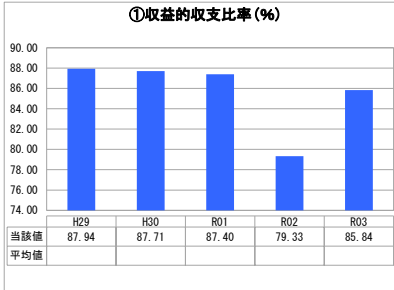
熊本県 芦北町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	22.08	89.80	3,300

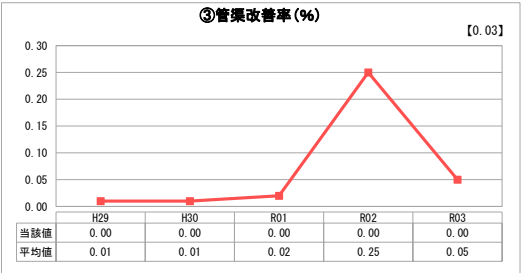
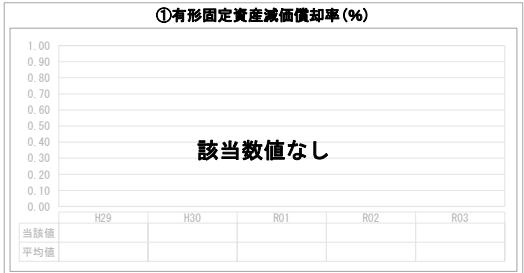
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
16,141	234.01	68.98
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,528	1.89	1,866.67

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営については一般会計からの繰入金に依存している部分がある一方、処理施設の老朽化が進行している状況である。
そのため、交付金を活用した施設更新や、施設統合、使用料の見直し等を進めていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

伏木氏処理区を除く5処理区（芦北・米田・花岡東・女島西・内野）については、供用開始後20年以上を経過し、施設・管路等の老朽化が進行している。
そのため、R3年度から順次、処理施設の更新工事を実施している。

全体総括

供用開始20年を超え、老朽化した施設の維持管理経費等の増加や、人口減少による使用料の減少も今後避けられない状況である。
R3年度から芦北処理場の更新工事を実施しているが、今後は、米田地区での更新も計画予定。また、使用料改定等も考えていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。